

<平成 26 年度>

## 子ども青少年部の取り組み実績

子ども青少年課  
放課後児童課  
子育て支援室  
家庭児童相談所

### ■ 基本方針 ■

近年の急速な少子化の進行、また、家庭、居住環境、地域社会、学校など子ども達を取り巻く環境が大きく変化する中、子どもの健やかな成長と学びを支え、生きる力を育むことは、将来を見据えた最も重要な投資であり、子どもたちが将来の夢や希望を抱き、子育ての喜びと感動を分かち合えるまちづくりをめざします。



地域子育て支援拠点「すこやか広場・きょうぶん」

平成 26 年度は来年度からの「子ども・子育て支援新制度（以下「新制度」という。）」に対応するため、「枚方市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。あわせて、新たな保育制度に対応するための準備を進め、秋からの入所手続き等に備えます。さらに、今後の保育需要に対応するため、従来からの取り組みに加え、幼保連携型認定こども園など新たな待機児童対策に取り組むとともに、公立保育所の民営化や児童発達支援センターの整備に向けた取り組みを着実に進めます。

留守家庭児童会室については、「新制度」施行に向けて、国から示された「放課後児童クラブの設備及び運営の基準」を踏まえ、基準の条例化を行うとともに、「子ども・子育て支援事業計画」の中で、留守家庭児童会室についての運営方針を示していきます。

また、児童虐待防止に向け様々な取り組みを行うとともに、引き続き家庭児童相談所機能の充実を図ります。さらに、ひきこもり等の子ども・若者への居場所づくりやサポーターの養成など、「子ども・若者育成計画」のさらなる取り組みを推進します。

### I 重点施策・事業

#### ◆待機児童対策の推進

引き続き増加が予想される保育需要に対応するため、認可保育所の定員増や、閉園となる樟葉南幼稚園及び桜丘幼稚園の活用に向けた実施計画の策定、幼保連携型認定こども園・小規模保育施設の認可ができるよう準備などに取り組めます。

また、保育士不足に伴う人材確保を図るため、安心こども基金を活用した保育士等処遇改善臨時特例事業を 1 年間延長します。

#### 実績

- ・平成 27 年 4 月に、私立保育園の増改築や認定こども園の創設等により 586 名の定員増を実施した。閉園する幼稚園を活用する分園の実施設計を行うとともに、運営法人を選定した。
- ・保育士等処遇改善臨時特例事業により全私立保育園の保育士等の処遇改善を図った。

#### ◆公立保育所の民営化

「公立保育所民営化（中期計画）」に基づき、平成26年4月に宮之阪保育所の民営化を実施するとともに、北牧野及び中宮保育所の保育の引き継ぎを行います。あわせて各保育所の定員増に向けて増改築の取り組みを進めます。

##### 実績

- ・平成26年4月に宮之阪保育所の民営化を実施した。
- ・平成27年4月の北牧野及び中宮保育所の民営化に向け、引き継ぎ保育を実施した。

#### ◆児童発達支援センター整備計画の策定

児童発達支援センターである幼児療育園及びすぎの木園について、効果的な保育や療育が行えるよう両施設の機能を有した児童発達支援センター整備計画の策定に取り組みます。

##### 実績

- ・両施設の現状や課題を整理し、効果的な保育や療育が行えるよう「（仮称）枚方市立児童発達支援センター整備計画」を策定した。

#### ◆子ども・子育て支援新制度への対応

平成27年度からの「新制度」に対応するため、「子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度に策定します。あわせて、今後国の動向を注視し、保育所、子育て支援、留守家庭児童会室等の制度移行への準備を進めます。

##### 実績

- ・平成27年3月に「枚方市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、今後5年間の取組を定めるとともに、平成27年度4月から新制度に移行した。

#### ◆留守家庭児童会室事業

子どもの就学前、就学後を通じた保護者への継続した就労支援を図る観点から、保育所保育料との均衡を考慮し、当面の措置として保育料の軽減を図ります。また、平成26年度で閉園となる殿山第二幼稚園及び津田幼稚園を留守家庭児童会室として活用するため、取り組みを進めます。

##### 実績

- ・当面の措置として保育料を月額9200円から7200円に減額した。
- ・閉園する幼稚園を留守家庭児童会室として活用するため、改修工事の実施設計を行った。

#### ◆親子支援プログラムの推進

児童虐待防止を図るため、子どもへの適切な関わり方について学ぶ、親向け支援プログラムや子どもの感情コントロールや困難な状況に対応できる力を育む、子ども向け支援プログラムを推進し、良好な親子関係の構築や児童虐待の予防に努めます。

##### 実績

- ・子ども支援プログラム「ファンフレンズ」を公立保育所2園で実施した。
- ・親支援プログラム「トリプルP」を2グループで実施した。

#### ◆子ども・若者育成事業の推進

「枚方市子ども・若者育成計画」に基づき、枚方公園青少年センターを活用した居場所づくりとサポーターの養成に取り組むとともに、さらなる市民の理解と認識を促進するため、連続講座や基調講演会など啓発事業を実施します。



万城目学さん講演会&トークセッション

##### 実績

- ・ひきこもりの若者の居場所支援「ひらぼ」を平成25年度に養成したサポートフレンドの協力も得て枚方公園青少年センターで開始した。
- ・4回にわたる市民連続講座のほか、枚方市子ども夢基金を活用した万城目学さんの講演会&トークセッションを実施し、市民に対する啓発に努めた。

## II 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
10.困難を抱える子ども・若者を支えるネットワークづくり	「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議」の連携をさらに深め、社会的自立に向けた総合的な支援を推進する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ひきこもり等に関連する 29 の機関・団体に呼びかけ、隔月に定例会議を行い、適切な支援を必要な対象者に切れ目なく提供できるよう、顔の見えるネットワークの形成を図った。また、ケースカンファレンスも行い、参加者の支援のための力量向上にも努めた。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
19③.閉園幼稚園施設の活用	実施計画を策定し、実施設計を行う。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>閉園する殿山第二・津田幼稚園を留守家庭児童会室として活用するため、改修工事の実施設計を行った。</li> <li>閉園する樟葉南・桜丘幼稚園を保育所の分園として活用する実施計画を策定し、実施設計を行うとともに、運営法人の選定を行った。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
33.技能労務職員等の配置基準の見直し	児童福祉施設調理業務・用務業務、営繕業務に係る技能労務職の今後のあり方をとりまとめる。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育所の調理・用務、営繕業務について、課題整理を行うとともに関係課等との協議を行い、取りまとめに向けた検討を進めた。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
38.保育所等の民営化	宮之阪保育所 （平成 26 年 4 月） 北牧野保育所 （平成 27 年 4 月） 中宮保育所 （平成 27 年 4 月）
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年 4 月に、宮之阪保育所を民営化し、平成 27 年度当初の定員増に向け、施設の増改築を行った。</li> <li>平成 27 年 4 月の北牧野及び中宮保育所の民営化に向け、引き継ぎ保育を実施した。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
47.保育所・留守家庭児童会室保育料の収入対策	口座振替の利用促進やコンビニ収納のPRを行うことにより、市民の利便性及び徴収率の向上を図る。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所・留守家庭児童会室保育料に、コンビニ収納を活用するとともに、債権回収課とも連携し、徴収率向上に取り組んだ結果、前年度に比べて、保育所保育料は 0.8 ポイント、向上した。また、留守家庭児童会室保育料についてはコンビニ収納を導入した前年度と同様の 95%を超える徴収率を継続できた。</li> </ul>	

### <事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
多胎児家庭育児支援事業	ホームヘルパー無料派遣の対象世帯を拡充し、子育て支援の強化を図る。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームヘルパー無料派遣の対象世帯を拡充したことで、利用登録世帯数が増加するなど、多胎児を養育する家庭への支援の推進を図った。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
枚方公園青少年センター青年文化事業	青少年のニーズの把握に努め、独自性のある事業を企画・実施する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方公園青少年センターの各事業実施に際し、参加者の満足度調査を行う等、青少年のニーズの把握に努めた。</li> <li>・枚方市少年少女合唱団が、より一層、市民文化に寄与できるよう、市主催・市協賛事業に出演する等、活動領域の拡大を図った。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
公立保育所管理運営事業	適切な人員配置や効率的な予算執行を推進するとともに、民営化により事業費の削減に取り組む。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な人員の配置や各種業務委託等を通じて、保育所の適切な管理運営を行うとともに、事業費の削減に取り組んだ。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
公立保育所環境整備事業	民営化により削減した経費を活用し、計画改修、建替えに取り組む。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所リニューアルにおける基本的な考え方をまとめるとともに、香里団地保育所大規模改修と枚方保育所増改築(建替え)事業に取り組むこととした。また、市有建築物保全計画により、外建具、外壁、屋根改修等を行った。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
育児支援家事援助事業	利用負担額を無料化し、事業を推進する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用負担額の無料化を実施したことで、利用世帯の増加につなげ、事業の推進を図った。(5世帯 延61回)</li> </ul>	

#### <業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
共有ドライブやグループウェアを活用した情報の共有	部内共有ドライブやグループウェアのスケジュール管理を活用して、より効率的・効果的な情報共有を図る。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループウェアへの入力を徹底するとともに、朝礼などでスケジュールの確認を行った。また、メールにより情報を配信し、迅速な情報の共有化に努めた。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
環境に配慮した移手段の活用	電動バイクや自転車等を活用するなど、環境に配慮した公用車の使用を実践する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の近距離への外出に際しては、電動バイクや自転車での移動を心がけた。また、電車・バスなどの公共交通機関の利用に努めた。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
相談・受付スペースの充実	保育施設や保育サービスの多様化に伴い、市民に対してより丁寧な説明が必要であり、落ち着いた相談や受付を行えるよう、相談スペースの充実を図る。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来庁者が座って相談していただける形態のカウンターを増設するとともに、ソファを設置して待合スペースを確保した。また、小さなお子さんが退屈しないよう絵本コーナーを設置し、落ち着いた相談や受付が行える環境づくりに努めた。</li> </ul>	

### Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成26年4月から宮之阪保育所民営化により単年度約7650万円（約85万円×90人：24年度決算ベース）※累計2億8050万円（約85万円×330人：4か所分）の経費削減を実現します。

#### 実績

- ・4か所目となる宮之阪保育所の民営化により、一般財源で1か所あたり約7830万円の経費削減を行うことができた。（平成25年度決算ベース）

- ◆昨年度に引き続き、安心こども基金を活用した保育士等処遇改善臨時特例事業により、私立保育園に補助金を交付します。（予算額：約1億2000万円）

#### 実績

- ・保育士等処遇改善臨時特例事業を実施し、全私立保育園の保育士等（約1089人）の処遇改善を図ることができた。

- ◆母子寡婦福祉資金貸付事業を実施するにあたり、母子及び寡婦福祉法第36条に基づいて、特別会計を設置します。（歳入歳出予算の総額は、それぞれ4450万円）

#### 実績

- ・中核市移行に伴い大阪府より移譲された事業であり、ひとり親家庭及び寡婦の自立促進と福祉の増進を目的として、子の修学資金・就学支度資金等の貸付を行った。（実績：継続7件（修学資金7件）、新規3件（修学資金2件・就学支度資金1件））

### Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆ミッションを達成すべく、部の職員全員に運営方針に基づく組織目標の共有化を図ります。

#### 実績

- ・室・課及びグループにおける朝礼や会議などにおいて、部の運営方針について周知し、職員の意識の共有化を図った。

- ◆積極的な業務改善、効率的な事務分担等により、時間外勤務の縮減に努めます。

#### 実績

- ・効率的な事務分担などにより、時間外勤務の縮減に努めた。
- ・国の新制度への対応をはじめ、中核市移行に伴う事務移譲による業務量の増加などに対し、グループ間での柔軟な対応により、効率的かつ効果的な事務の執行に努めた。

- ◆複雑・多様化する児童家庭相談や児童虐待、ひきこもりやニート等の相談に対応するため、外部から専門的分野の助言・指導者を招へいし、職場研修を行うなど、職員の専門的な能力向上を図ります。

#### 実績

- ・月1回、ひきこもり支援に豊富な経験を持つスーパーバイザーを招き、ケースカンファレンス等でのスーパービジョンを実施し、職員の専門的な能力向上を図った。
- ・職員の資質向上を図る虐待対応業務専門研修を行った。（14回）

### Ⅴ 広報・情報発信

- ◆中核市移行に伴う母子寡婦福祉資金貸付事業をはじめとした、ひとり親支援の充実に係る各種事業について、ホームページや広報により市民に広く周知を行います。

#### 実績

- ・「広報ひらかた」において、中核市移行に関して移譲される事業等の特集記事を4月号に、ひとり親家庭等に係る相談窓口の変更に関する記事を7月号に、また、父子家庭への支援の充実に係る記事を10月号に掲載した。併せて、ホームページにおいてもひとり親家庭等支援に係る情報を掲載し、市民周知に努めた。

#### ◆保育所における情報発信

公立保育所に設置した屋外掲示板を活用し、各保育所で取り組んでいる地域子育て支援行事のチラシ等を掲示し、情報発信の充実を図ります。

#### 実績

- ・各保育所の正門付近等に設置している掲示板に、保育所行事や地域子育て支援事業等のチラシ等を掲示し、積極的に情報発信に努めた。